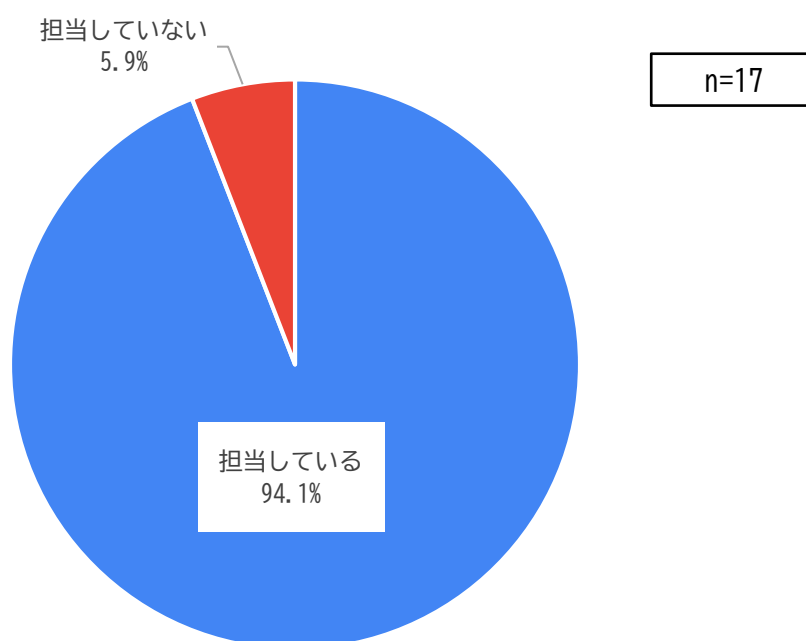


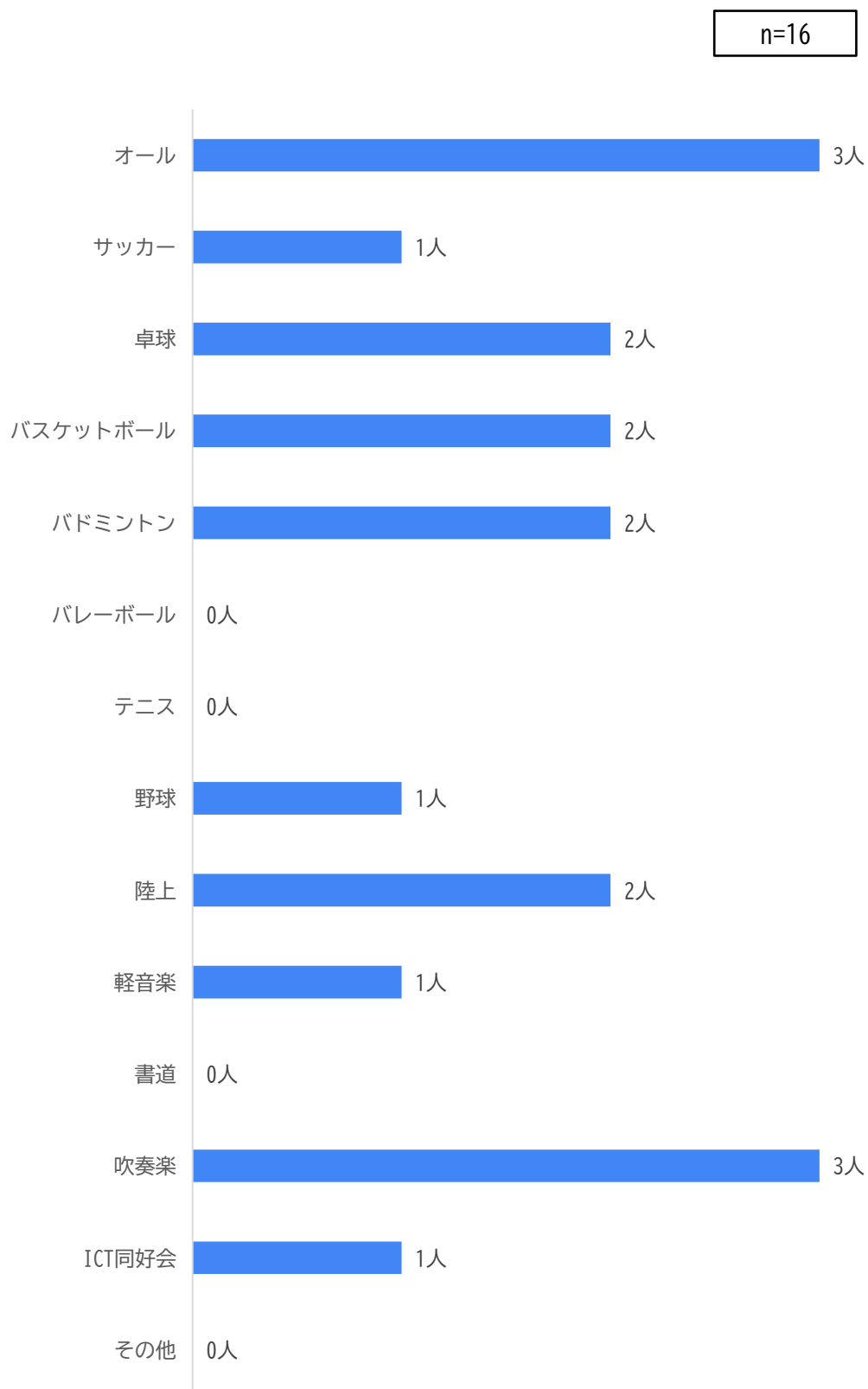
<アンケート調査結果>

問1 現在、部活動の顧問(副顧問も含む)を担当していますか。



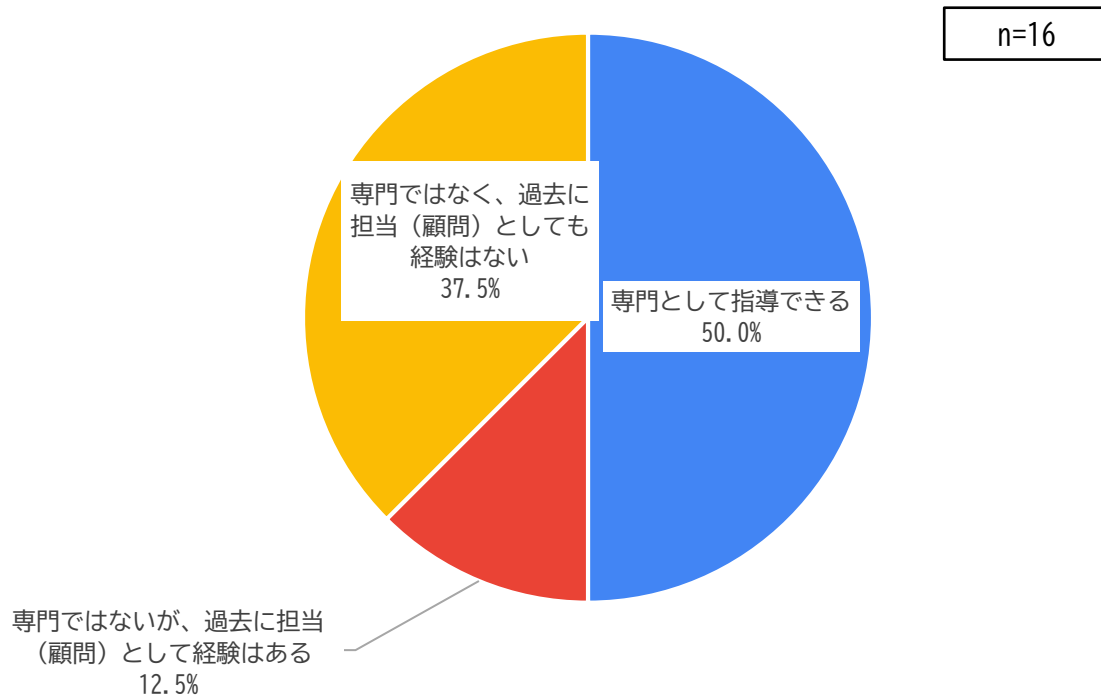
問2 現在担当(顧問)している部活動は何ですか。複数あればそれぞれ回答してください。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



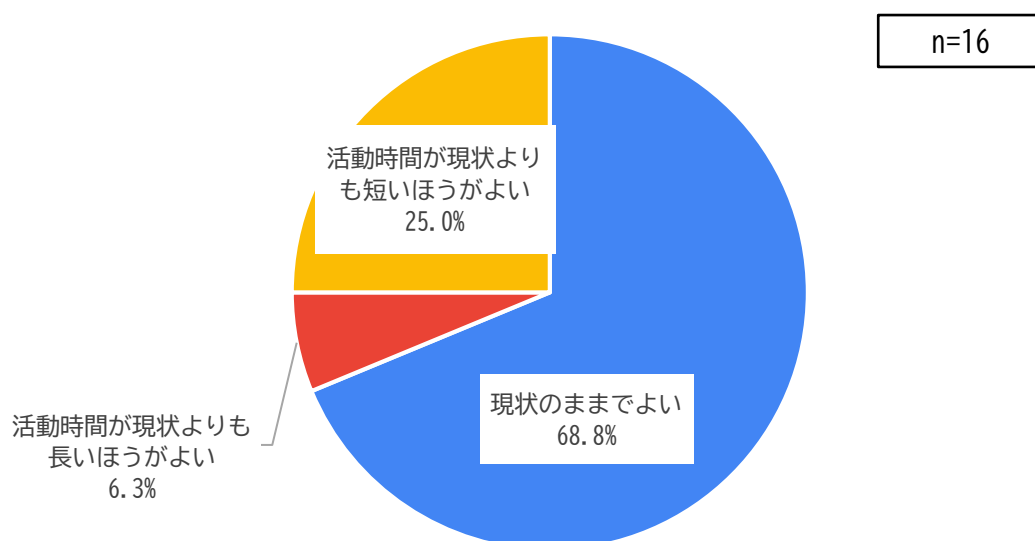
問3 現在担当している部活動は、ご自身が専門として指導できるものですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



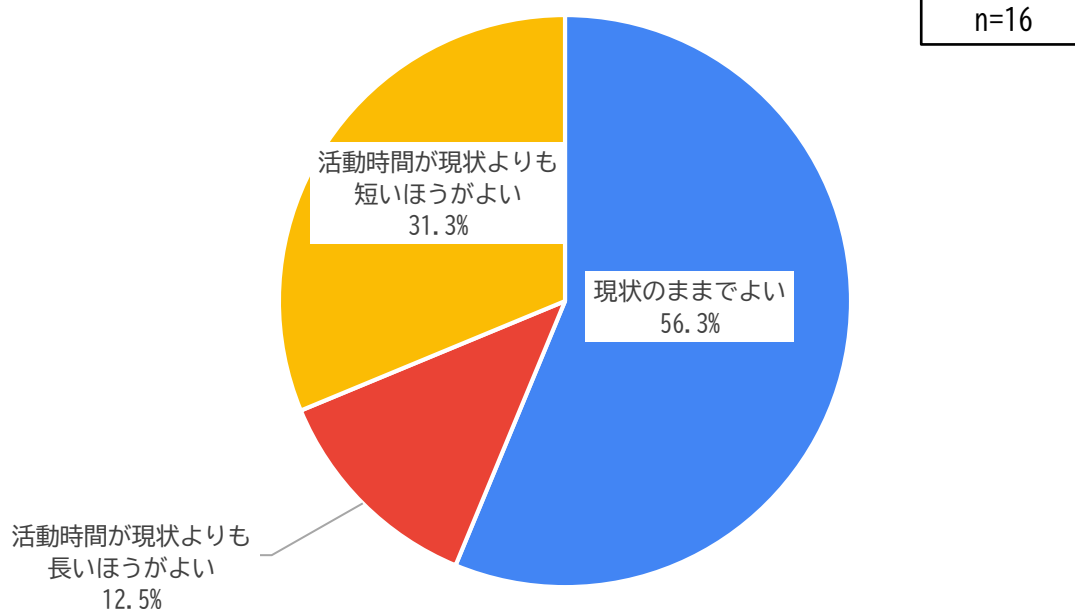
問4 平日の部活動の活動時間は2時間程度となっていますが、活動時間はどのようにお考えですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



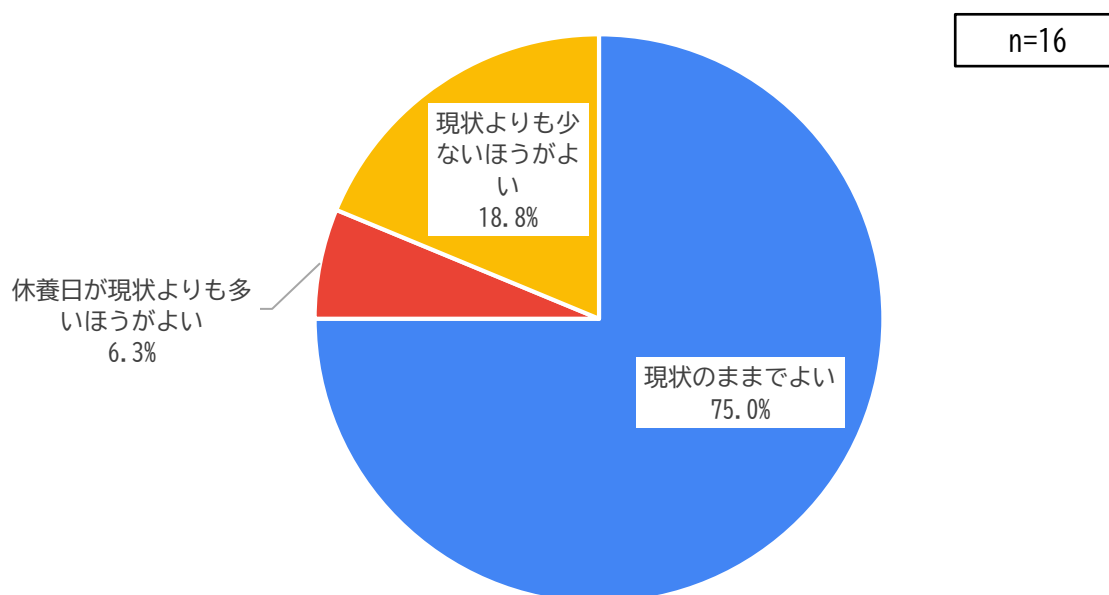
問5 土曜日や日曜日の部活動の活動時間は3時間程度となっていますが、活動時間はどのようにお考えですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



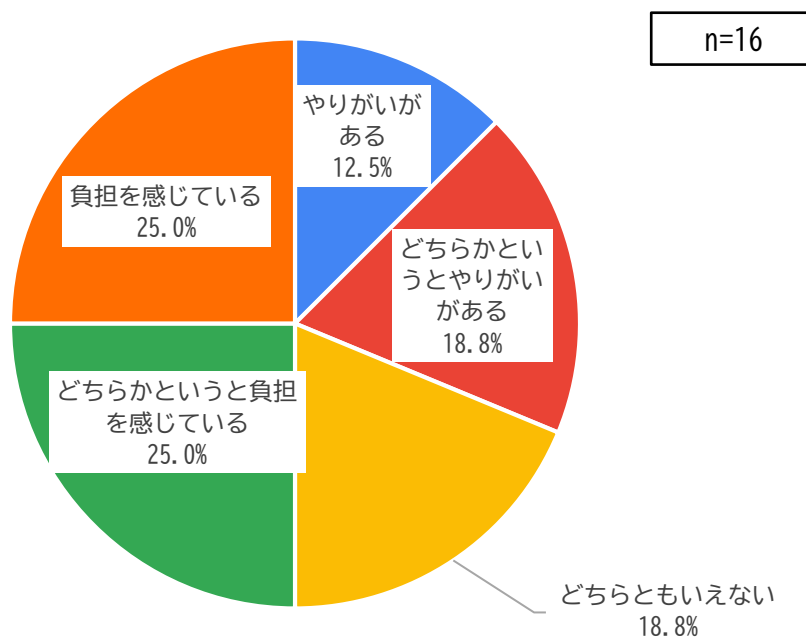
問6 部活動の休養日は週当たり2日以上を設けることになっていますが、休養日の日数はどのようにお考えですか。

(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)

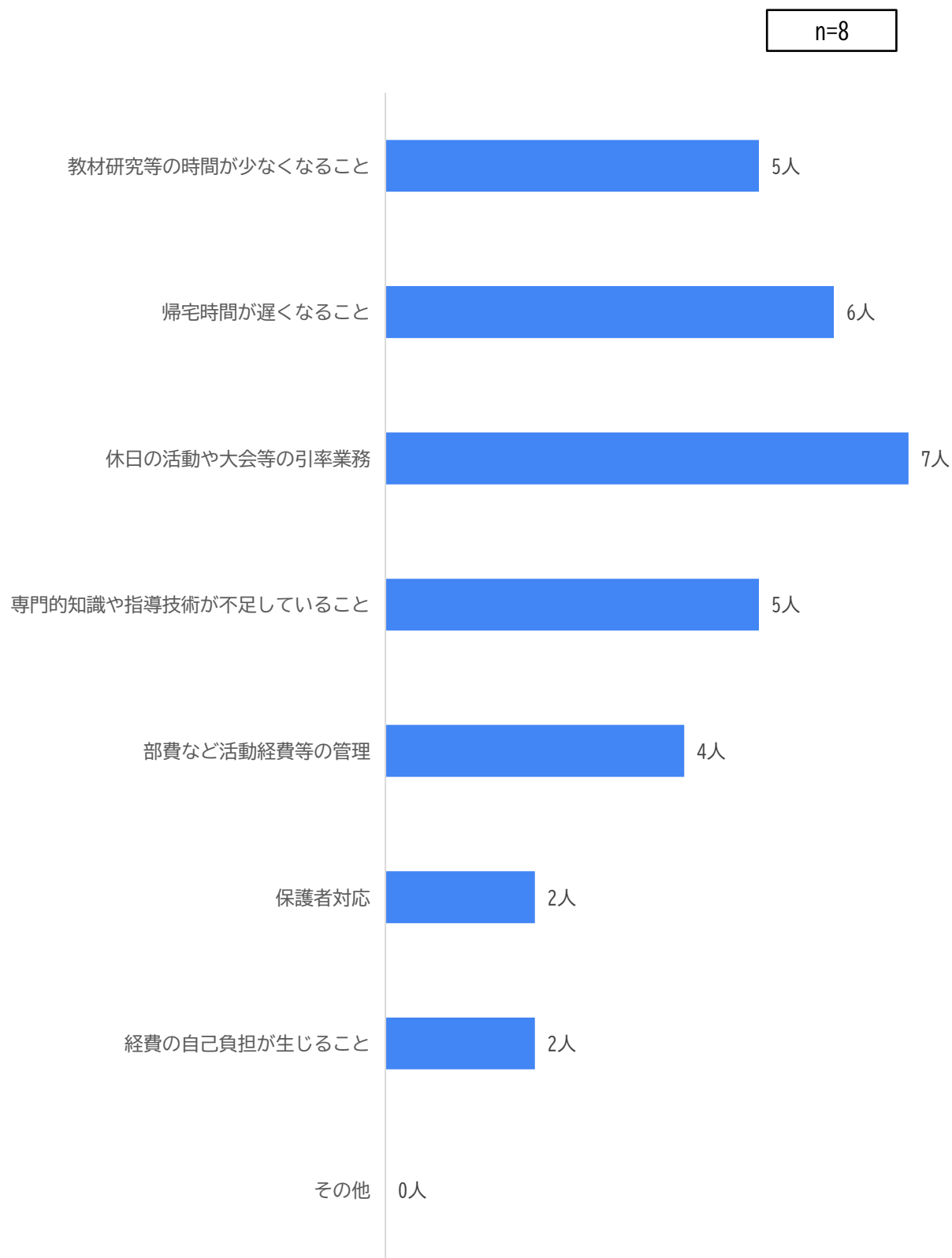


問7 部活動の指導について、どのように感じていますか。

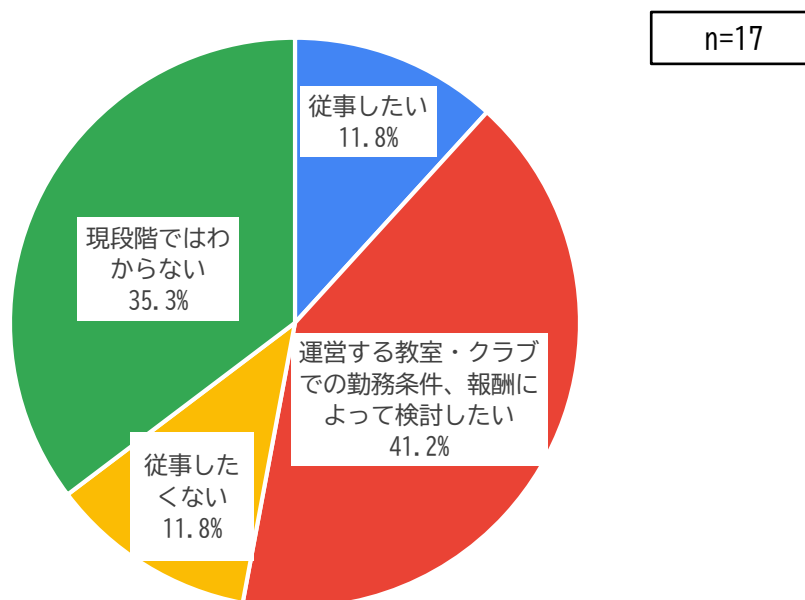
(問1で、「担当している」を選択した教職員のみ回答)



問8 どのようなことに負担を感じていますか。複数あればそれぞれ回答してください。
(問7で、「どちらかという負担を感じている」、「負担を感じている」を選択した教職員のみ回答)

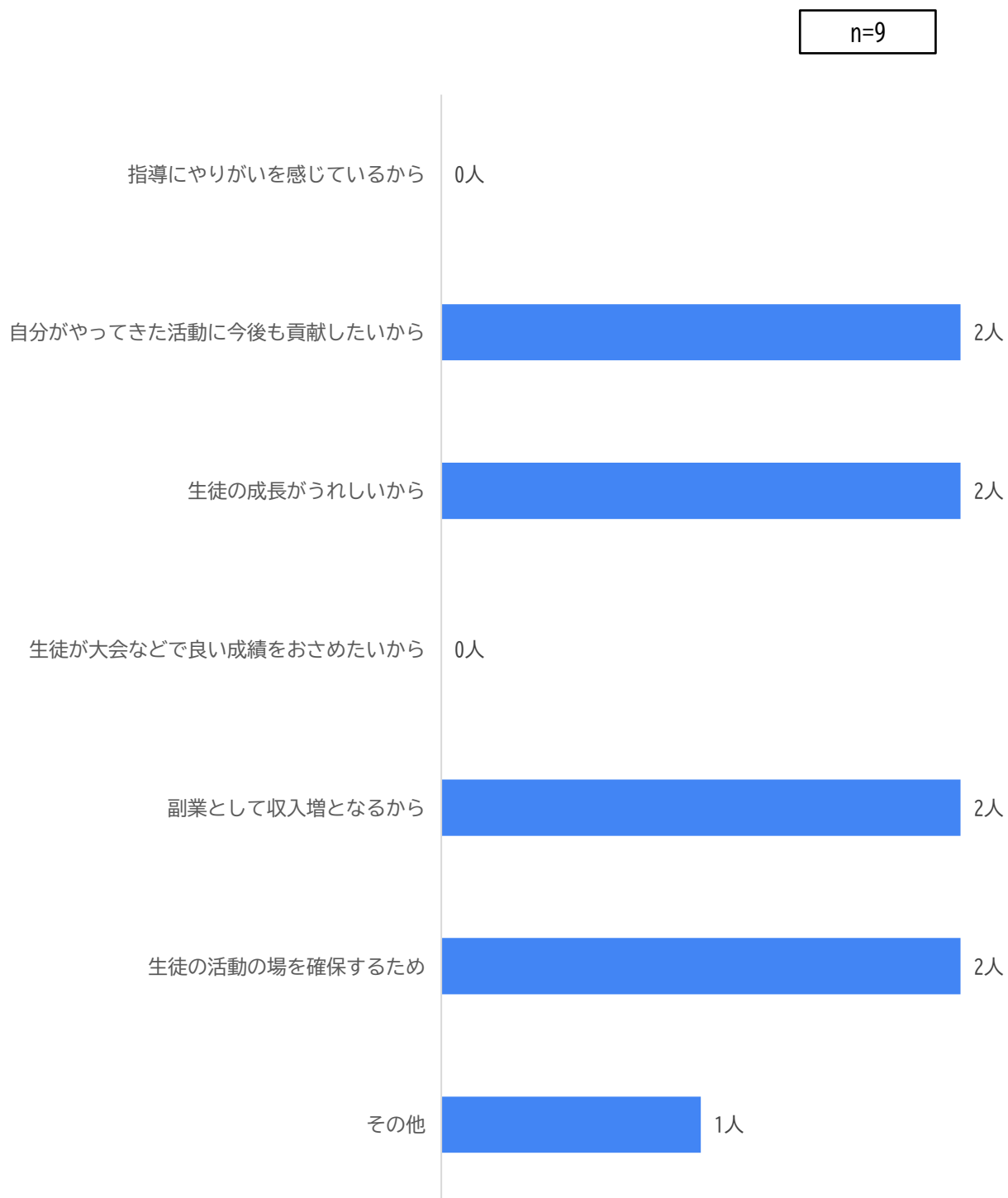


問9 休日の部活動を地域のスポーツクラブや文化団体等が運営する教室等の活動に地域移行した場合、あなたは兼業の許可を得たうえで、子どもたちのスポーツや文化芸術活動の指導に従事したいと思いますか。



問10 「従事したい」または「検討したい」と思ったのは、どのような理由ですか。

(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)

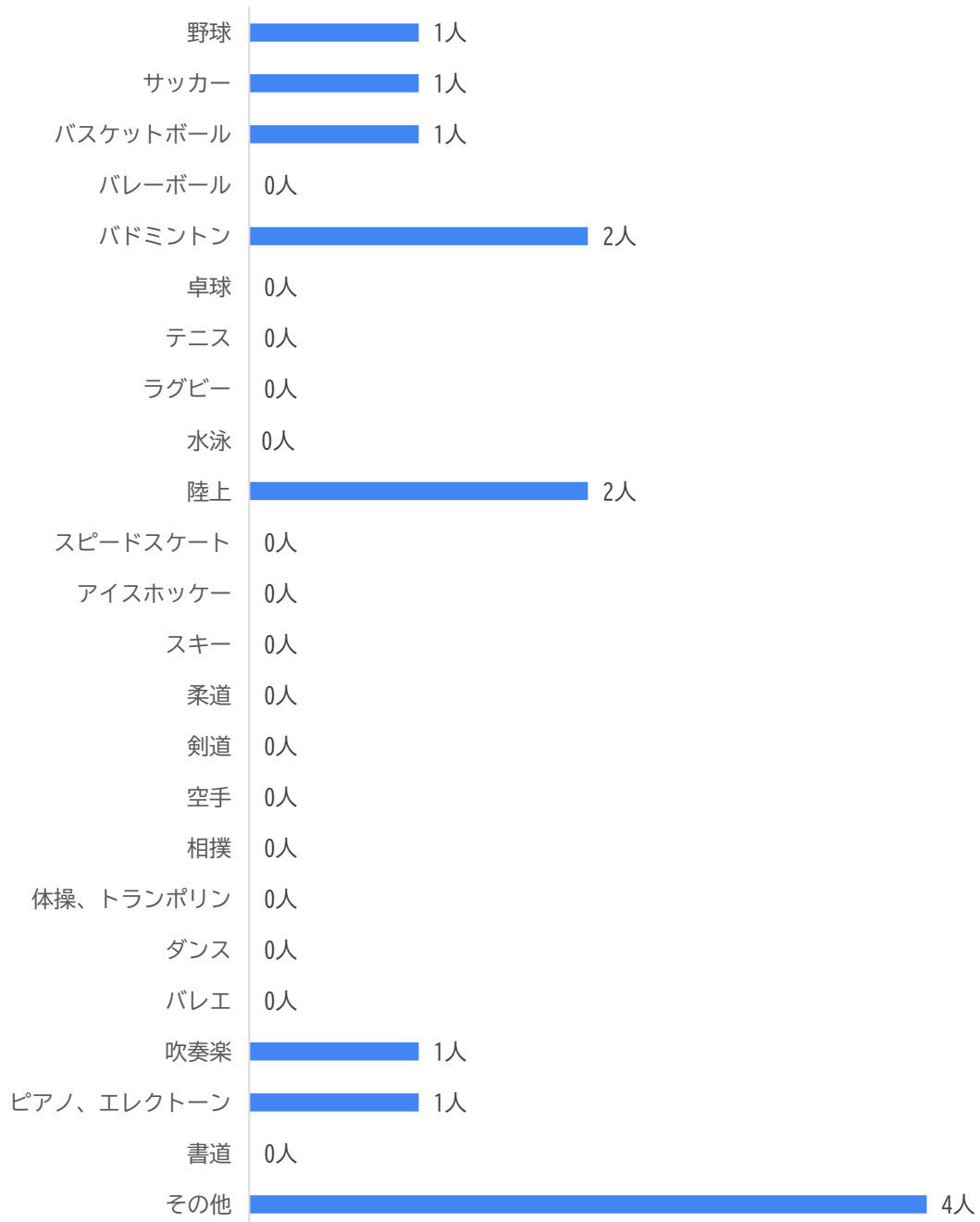


※その他(自分の経験を伝え、その業界の裾野を広げるため)

問11 どのような競技・種目の指導をしたいと考えていますか。複数あればそれぞれ回答してください。

(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)

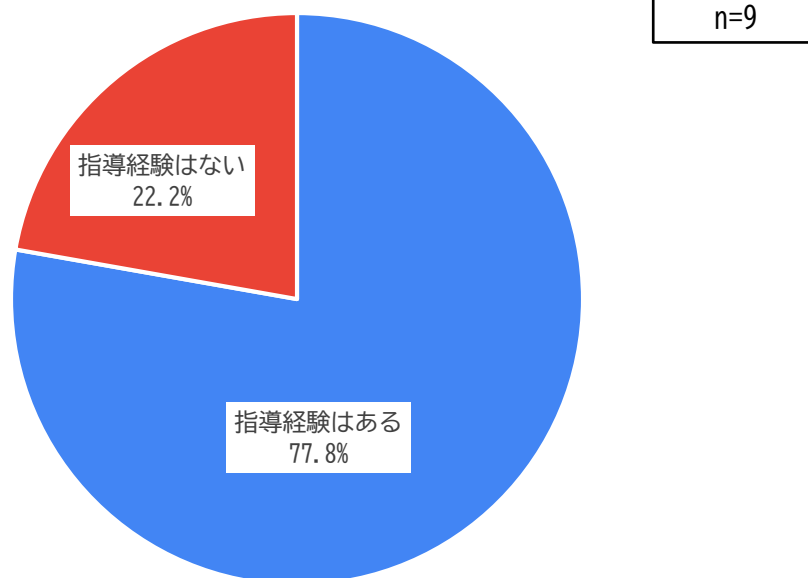
n=9



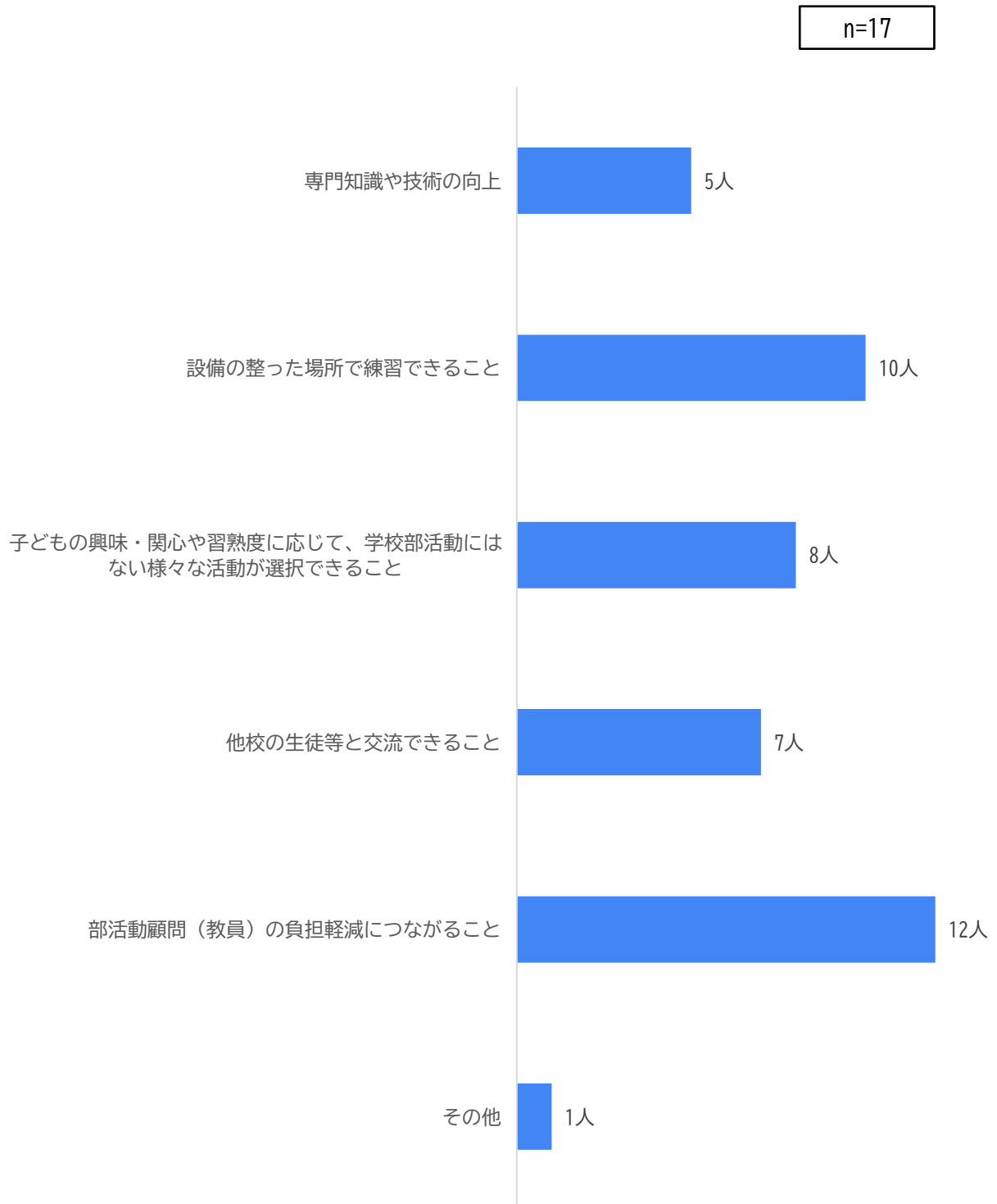
※その他(模型などのものづくり、合唱 など)

問12 その競技・種目は、指導経験はありますか。

(問9で、「従事したい」、「運営する教室・クラブでの勤務条件、報酬によって検討したい」を選択した教職員のみ回答)

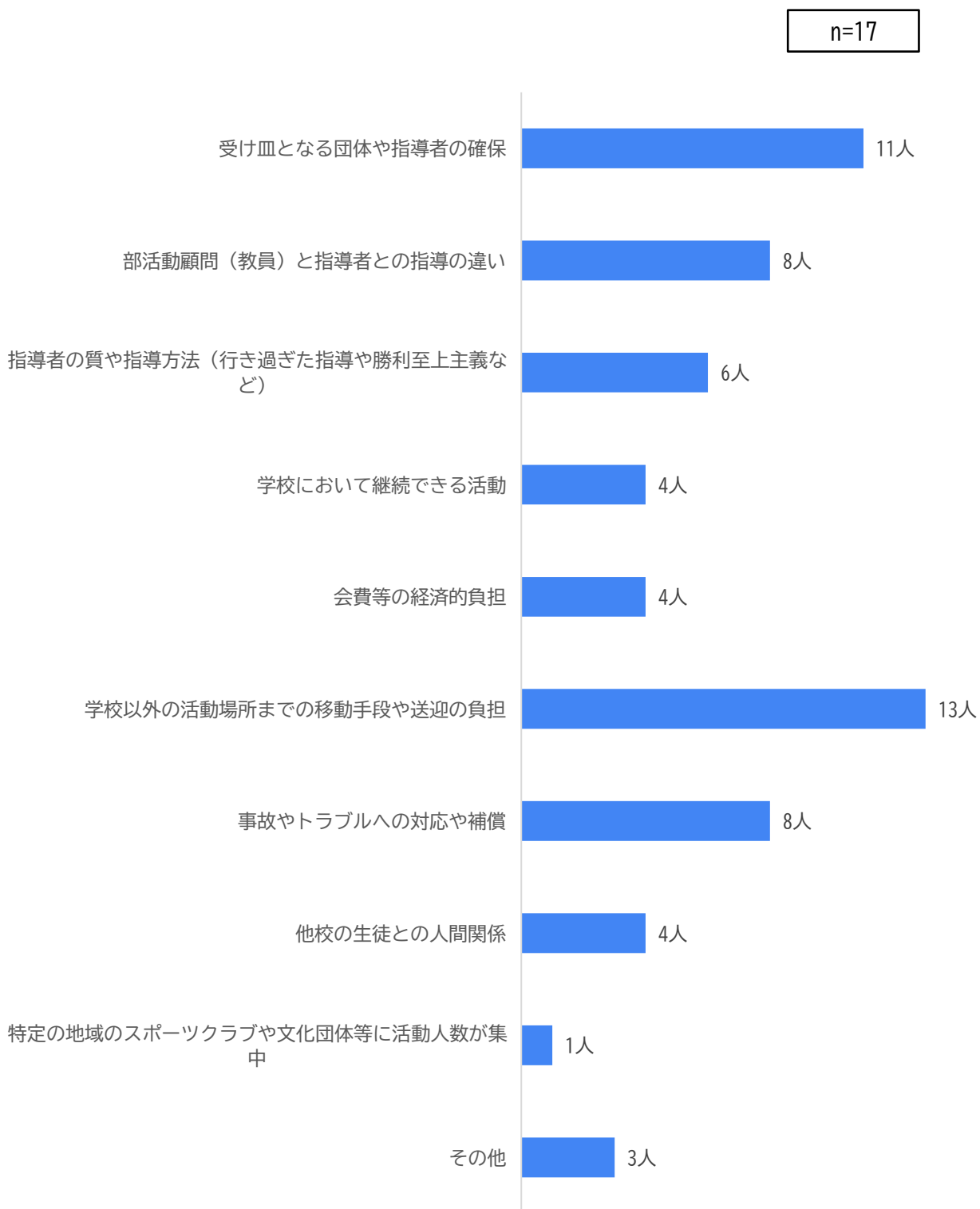


問13 休日の学校部活動の地域移行において、期待することはありますか。複数あればそれぞれ回答してください。



※その他(週休日に休めるようになること)

問14 休日の学校部活動の地域移行について、課題となることは何ですか。複数あればそれぞれ回答してください。



※その他（練習場所の確保、用具の運搬・管理 など）

問15 部活動の地域移行について、ご意見があれば、お書きください。

学校までの交通手段の確保が望まれる。

練習場所への交通手段の確保。

軽音楽部の顧問としては、個人的に地域移行の必要性は感じていない。まだするべきではないと思っている。

楽器の運搬がかなり困難と感じています。チューバなど大きな楽器の場合、親の送り迎えが必要かと思います。重たい楽器を持ってこの坂をのぼる、降りるは正直厳しいです。

地域移行は教員の負担軽減になるが、保護者の負担が増える。特に練習場所が校内にないために送迎の負担が増える。その為、バス(コミュニティバス等)の交通手段の整備が必要である。

生徒・保護者のニーズが多様化する中で、学校単位で課外活動をするには様々な面で限界が来ている。
求める指導をしてくれる指導者のもとで学べる環境があり、学校という枠にとらわれず活動先を選択できるなら、指導者にとっても活動する生徒にとっても良いことだと思うので、どんどん地域移行を進めてほしい。

部活動の業務の一部、もしくは特定の曜日だけのような形式の移行であれば、逆に負担が増えるように感じています。はっきりと分担をしたい。学校側は部活動を削減し、2名などではなく、より多い数の教員で指導・引率できる状態にする。地域は地域の人材を活かし、それぞれの地域で展開できるクラブで活動を行う。もちろん、学校側も地域の各競技のクラブ活動の状況を踏まえて、そこと競合していくような競技に関しては無理に部活動設置しなくても良い。全ての学校に全ての部活動を設置することはもう難しいので、生徒募集の側面もある部活動ではありますが、思い切った部活動の削減を行うべき。

まず、必ずしもやりたい部活動の顧問に就てるわけではなく、やりたい部活動であれば考え方や取り組みも変わることでしょう。

①部活動を地域へ移行する際には、これまでの部活動とは違う形態でのスポーツ指導に(目的、指導法、指導対象、経費、環境等)なることが予想されます。

指導方針、指導者の確保、方針に伴う指導者の資質育成、受益する側の経費負担や送迎、活動場所、それらをどこが運営するのかなど多くの議論がこれから必要になると思います。スポーツ指導の改革に加えて、これまで活動の場だった大会の形態も変更せざる得ない状況が差し迫っています。ですが、中体連、高体連、高野連といった組織との連携や変革に際しての調整を誰がどこでしていくのかということが不透明で、大きな課題の1つになると考えます。またそれらに頼らずに競技協会で独自に創っていくとなっても、これまでの大会運営のノウハウは専門委員等の教員が持っていること、スポンサーなどある程度の資金、人件費が必要になること等問題は山積みを感じています。部活動やスポーツ指導に意義や自身の存在価値を見出している者にとっては、高校生にこだわらず、子どものスポーツ指導に関わる環境を行政、民間問わず作って欲しいと願っています。仮にその構築に自身が関われる機会があるなら積極的に参画したいと思っています。個人としては専門種目の経験値を持って、種目の指導や育成に寄与したいと考えています。

②どこが舵を取るかはわかりませんが、民間と連携した形での自治体主導がいいのではと考えます(どう連携するかは議論が必要ですが。)理由はスポーツサービスの受益に、受け手側の経済格差の問題があるからです。そこに助成システムを講じることができるのは、今のところ行政しかありません。

子どもたちのスポーツ環境構築をどの自治体よりも早く、そして充実した枠組みにできることは、今後、訪れる人口減少に対する政策にも繋がります。町としてスポーツ振興を推し進めることは、現存している日体大、慶應大学との連携、スポーツクラブの活用、オリンピアの町の政策事業の魅力発展に繋がり、加えてスポーツや文化的な活動環境を充実させることは子育て世代の人口移入、交流人口、関係人口の増加などの町の政策の一角を担えるほど大きな反響を作り出せる可能性があります。

少子化が加速している現状を鑑みると、短期的には子育てをする世帯の取り合いが各自治体で始まっており、幕別町も何を魅力を求められる時期が訪れるはずですが(長期的には自治体同士の繋がり、自治体の裁量権が強化される?)

民間との連携は難しさはありますが、少子化のため、国の助成が減額され、自治体予算は目減りしていきます。そして人が減り、お金が減り何もできなくなるまで待つのではなく、街の公共を維持するという点においても自治体と民間が連携して人の流れとお金を生み出す仕組みを考えるなど、ある種の公務員の公平性神話みたいな価値観や縦割りの行政区分に縛られることなく、新しい発想や柔軟な動きを現状のルールの中で模索して欲しいと願っています。誰かが風穴を開けて欲しいと思っています。